

資料1 第1回準備会「分科会」での意見交換内容及び今後の方向について

1 主な意見・課題 (A 生徒 B 保護者関係 C 指導者関係 D その他)

①グループ (野球・ソフトボール・サッカー)

- ・シニア野球は51人いるが、すべてのクラブ員が練習や試合に出られるように工夫している。会費をいただく以上、同じようにしたいと考えている。(A)
- ・サッカーは部員が減っているが、クラブチームとしての受け皿を作ることで対応したい。(A)
- ・軟式野球の場合、中学校単独でのチーム編成が難しくなっている。合同チームやクラブチームになった時の保護者負担は大きい。(B)
- ・ソフトボールは部活とクラブと両方での活動となっている。クラブチームは保護者の運営になり、保護者の負担が大きい。地域移行の場合も保護者負担が増える形になるのか。(B)
- ・平日も休日も見てくれる方がいればよいが・・・。(C)

②グループ (バレー・バスケ)

- ・クラブチームになった際の練習がどうなるか心配。子ども中心の議論をしていきたい。(A)
- ・いくつかのチームがあり、生徒が選択して所属するような形もあるかと思う。(A)
- ・部活動は学校生活の延長だから加入するという生徒が多い。地域移行をした場合、参加への敷居が高くなるし、保護者負担も増える。(A・B)
- ・指導者として、生徒の管理や運営も含めて行うとなると自信がない。(C)
- ・指導の一貫性の観点からみて、平日指導する顧問と地域の指導者の意見が相違するときはどうなるのか。(C)
- ・現在、学校で管理している用具や備品がたくさんある。生かす方向で考えたい。(D)

③グループ (陸上・卓球・ソフトテニス)

- ・小学生の陸上クラブ員も13名ほどいる。中学生と一緒に練習できる機会があればよい。(A)
- ・指導者はいるので、その組織化を進めることで地域クラブ化できると思う。(C)
- ・陸上は、部活動を残しながら休日の合同練習から始めたい。(D)
- ・卓球、ソフトテニスは、現在の状況を顧問から伺い、休日の移行について探っていきたい。(D)

④グループ (柔道・剣道・空手・体操 等)

- ・部活動として継続できる限りは継続させたい。(A・B)
- ・受益者負担がないのは日本だけ。対価は払う方向でよいと思う。(B)
- ・指導者が教員以外となれば指導者不足が続く。また、一人で指導していくと指導が偏っていく心配がある。(C)
- ・先生の中で、土日は休みたい人が増えている。休日の指導者を人材バンクから募るのもよいのではないか。(C)
- ・現在地域スポーツとして活動している時間に、新たな地域クラブが入ってくると、活動場所や時間に制限がかかり今まで通りの活動ができなくなるかもしれない。(D)
- ・この協議会を通じて、意見をまとめ、上にあげていくことが大事。県や中体連へ上げて変えていく。部活がなくなり、中体連がなくなり、運営は各競技団体でやってくださいとなるのでは。(D)

⑤グループ（吹奏楽・文化部関係）

- ・吹奏楽では、中学校から始めるのではなく、小学校の5・6年生くらいの時から楽器に触れる機会を与えられればよいと思う。（A）
- ・吹奏楽は楽器の種類も多いので、指導者も専門の方が複数必要になる。その場合の保護者負担が心配。（B）
- ・吹奏楽の全国組織は複雑で、中学生の大会運営は吹奏楽連盟という学校の先生方が担っている。全国的にも地域移行のモデルは少ないが、中野市は楽器の状態も良いので地域移行しても楽器の管理はお願いしたい。（C・D）
- ・練習場所・指導者等の課題はあるが、中野市に一つの吹奏楽クラブにすると、皆で知恵を出して、楽器を置くスペースの確保とか一つずつクリアしていくことはできると思う。（D）
- ・合唱は南宮中のみであるので、地域の合唱団とコラボしていけば地域移行は可能と思う。多くの人数で合唱することの感動も味わえる。（D）
- ・美術部他の文化部は、平日中心の活動だからしばらくは教員が顧問すればよい。しかし、8年度以降、完全な地域移行になるときの指導者はどうするか考えなくてはいけない。（C・D）

○出された意見のまとめ

※子どもを中心に、保護者の理解・協力（送迎・会費・運営等）を得ながら進めていくこと。

※地域の指導体制（運営事務・指導者リスト・指導力養成等）の整備を進めるとともに、特に平日の活動について方向性を決めること。また、体制が整うまでは、学校に支援（指導者、活動場所等）をお願いすること。

※既存のスポーツクラブや文化芸術団体の活動と重複する場所や時間の調整、備品や活動場所の管理責任等、市民への周知と理解も必要なこと。

※種目によって、地域移行の方向性に違いがある。種目ごとの情報共有・意見交換が必要なこと。

2 今後の方向として（次年度スタート前に整えたいこと）

○中学校1年生への説明（資料3）

- ・「中学校別の次年度の部活動実施について」「地域クラブ（社会体育や文化クラブ活動含む）の活動方針について」を整え、12月中に小学校6年生児童および保護者へ配布する。
- ・具体的な説明は新1年生保護者説明会（体験入学）時に、教頭または部活動主任等が説明する。（南宮中；1月11日、中野平中；1月19日、高社中；2月6日、豊田中；2月6日）

○地域クラブのイメージを具体化する。（たたき台となる案を作成し意見を伺う；次回準備会へ）

- ・先行事例をもとに、事務局組織、地域連携のあり方、スケジュール等について
- ・部活動や地域クラブでの会場使用料等の扱いや地域指導者への謝金等について
- ・クラブ活動実施の具体的な案について（必要によって、種目ごとの意見交換の場を設定）
- ・保護者負担について

○合同部活動を実施する場合の移動支援

- ・次年度もチームスポーツ（野球・サッカー・ソフトボール・バレー・バスケット）及び吹奏楽で合同部活動を実施する場合は、平日の往路のみ公費負担できるよう予算要望をしている。希望がある場合は早めに申請いただきたい。委任指導の場合は対象外とする。